



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

令和 2年 1月16日 第20号

発行者：校長 菅野 定行

「覚える」から「活用する」へ

— 冬休み明け全校集会 —

今夏開催される「2020東京オリンピック・パラリンピック」に関連した探究型の講話を、1月8日（水）に冬休み明けの全校集会時に校内放送で行いました。

オリンピック・パラリンピックに伴い、日本を訪れる外国の人々が大幅に増えることが予想されますが、「東北を訪れた外国人宿泊者数の推移」のグラフから読み取れる内容について考える課題を事前に配付しました。その後、河北新報の①仙台空港の24時間運用と②サン・ファン号の解体に関する記事を読んで、質問や意見を考える時間を設けました。

訪日外国人を増やすために空港を深夜まで動かすことが良いのか、それとも地域住民の生活を守ることが大切なのか。地域の観光資源の解体は、やむを得ないことなのか、それとも費用をかけて再建すべきなのか。など、正解のない課題に生徒たちは取り組みました。

各教科・科目で学ぶ内容は習得して終わりではなく、普段の生活や社会で活用できてはじめて生きることを考えてほしいというねらいです。昨年からさまざまな時間・場所で地域課題に触れてきました。それらの課題を時々思い出し、意識することで、これからの授業を受ける姿勢に変化をもたらしてほしいと願っています。



生活委員による指示で自らを振り返る

— 身だしなみ指導 —



1月8日（水）の冬休み明け全校集会後に「自分自身の身だしなみを自ら確認し、自分を指導することができる生徒を育てる」ことを目的にした身だしなみ指導を行いました。

各クラスの生活委員が、セルフトークング（自分自身で問いかけ確認）、周りの生徒との確認、自己申告タイムなどの指示を行い、身だしなみの声かけを行いました。

ご迷惑をお掛けしております

— 講堂（体育館）工事 の進捗状況 —

昨年7月から続いております講堂（体育館）の大規模改修工事ですが、3月中の完成・引き渡しに向けて順調に進んでおります。年明けには、足場の撤去がはじまり、現在は、内装工事中です。

市道工事に伴う正門付近の工事を含め、引き続き、ご理解ご協力をよろしく願いいたします。



「不可能」から「何でもできる」へ
— パラリンピック推進事業に係る授業 —



オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業に係る講演会を昨年10月に東松島市コミュニティセンターで開催しましたが、保健体育の授業でパラリンピックを題材として取り上げ、「共生社会」への気づきを促すことなどを目的とした授業が行われました。

国際パラリンピック委員会が開発した公認教材「I'mPOSSIBLE」を使用し、「不可能 (Impossible) だと思えたことも、ちょっと考えて工夫さえすれば何でもできるようになる (I'm possible)」という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージに触れる機会となりました。



パラリンピック正式種目の「ボッチャ」の体験も行いました。



ただいま準備中
— 地域協働推進事業に係る取り組み —

文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進」事業の一環として、今年度本校で取り組みを行いました各事業の報告に向けた準備が進められています。



地域社会と関わりながら、地域課題に対して、主体的に探究する資質や能力を身に付ける機会として、26の事業所の協力を得て実施した2年生の「街 QUEST」の課題研究発表会を、1月28日（火）に予定しています。



自己・職業・社会理解講座として、勤労観などを養う目的で、50以上の事業所に協力を頂きました1学年の「インターンシップ」の体験報告会（ポスターセッション）は、2月4日（火）を行う予定で準備が進められています。

